

THE ONES LEFT BEHIND

各国映画祭40カ所ノミネート作品

国際映画祭17部門受賞作品

ライオン・マカヴォイ
監督が矢板に来る!!

5月31日(土)

15:00~/18:00~

文部科学省選定作品 ドキュメンタリー映画

上映会&監督トーク

旧長井小体育館 (栃木県矢板市)



映画の情報は
こちら



チケット申込
Googleフォーム



チケット申込
(オンライン決済)

監督からのメッセージ：

日本には、**外部の人間には理解しにくい社会的な側面**が存在する。それは、日本人自身にも明確に見えていたとは限らない。**表面的には美しさ、穏やかさ、そして秩序**が保たれているが、**その裏には深い沈黙**が横たわっている。

日本では日常が目まぐるしく進んでいる。電車は途切れることなく走り、ネオンの光は絶え間なく街を彩り、生活は加速度的に進行しているように見える。しかし、**すべての人がそのペースについていけるわけではない。**

このような社会的な課題を抱えながら、先進国として高い機能を維持する日本。この現実を放置することが果たして許されるのだろうか。今こそ、企業や団体、個人が立ち上がり、責任を持つべき時です。変革に貢献し、隠れた問題に光を当て、**誰もが取り残されない社会**を作り上げる時が来ました。

Directed by Rionne McAvoy

THE ONES LEFT BEHIND

THE PLIGHT OF SINGLE MOTHERS IN JAPAN

取り残された人々： 日本におけるシングルマザーの苦境

ライオン・マカヴォイ監督

多くの映画祭で注目を集めたこの作品は、外国人監督が「日本の隠された真実」を描いた78分の長編ドキュメンタリー作品となる。

世界第4位の経済大国日本。先進国でありながら、日本の子どもの7人に1人が貧困状態にある。しかしながら、なぜその現実が見えてこないのか。日本の社会、文化、歴史を様々な角度から深く掘り下げ、日本の隠された現実を外国人が感じる素直な「違和感」として映画化した作品となる。

また、この作品に携わった日本人女性のプロデューサーも、2世代でシングルマザーを経験している。長年感じ続けてきた「漠然としたこの国での生きづらさ・女性への不平等さ」の原因を共にひも解くことで、女性たちの声を代弁し、他にはない作品となったと語る。

彼女は当事者の日本人には描けなかった「母として生きる辛さからの解放」と述べている。

今後私たちはどうあるべきなのか。。。あなたの心に訴えかける作品である。



制作会社：ジャパンメディアサービス株式会社

【日 程】 令和7年5月31日(土)

【会 場】 長井小学校跡地キャンプ場の体育館
〒329-2514 栃木県矢板市長井1 2 4 8

【スケジュール】 15:00～16:20 映画上映（1回目）
16:30～19:20 出張こども食堂オープン※無料
18:00～19:20 映画上映（2回目）
19:30～20:30 ライオン・マカヴォイ監督Q&A トーク
※こども食堂は数に限りがあるためお子さま連れの方を優先とさせていただきます。

【料 金】 映画のみ 1,000円/人
映画&監督トーク参加 1,500円/人
(高校生以下無料) ※寄附・協賛つきチケット販売あり

【主 催】 THE ONES LEFT BEHIND 長井小上映実行委員会

【お 問 合 せ】 090 - 6144 - 2816 yaoroku806@gmail.com